

◆ 平成 21 年度気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラム

今年度の中部支部研究会は 12 月 8 日（火）および 9 日（水）の 2 日間にわたって、三重県津市の三重大学内において開催する予定です。既に講演の申し込みは締め切られていますが、講演の申し込み件数は 27 件に及び、気候システム、エアロゾル、地球温暖化や大気海洋相互作用に関する研究など、いろいろな分野における講演が予定されています。会員の皆様には、講演要旨集もあわせて配布する予定ですが、研究会のプログラムを以下に添付いたしました。ご興味のある方は是非とも会場までお越しください。

◇ 平成 21 年度支部研究会概要

日時： 2009 年 12 月 8 日（火曜日）12:30 ～ 18:00（終了後、別会場で懇親会）

12 月 9 日（水曜日）09:00 ～ 14:20

場所：三重大学総合研究棟 II 1 階メディアホール（三重県津市栗真町屋町 1577）

交通案内：

会場となる三重大学総合研究等 II へは、近鉄江戸橋駅（三重大学前）から徒歩で約 15 分です。近鉄江戸橋駅へは、近鉄名古屋駅より近鉄電車急行で約 60 分です。

会場案内図



(地図：三重大学のウェブページより、一部情報を付加した。)

◇ 講演プログラム

12月8日(火)

- 12:30 ~ 12:40 開会の辞 牧原康隆(中部支部長/名古屋地方気象台)
- 12:40 ~ 13:00 榊原朱里*・葛葉泰久(三重大学生物資源学部)
「地球の気候変動に与えるいろいろな地球惑星的要素の研究」[P]
- 13:00 ~ 13:20 五味千絵子*・葛葉泰久(三重大学大学院生物資源学研究科)
「降水量変化に伴う気温・風速変化に関する研究」[P]
- 13:20 ~ 13:40 葛葉泰久*(三重大学大学院生物資源学研究科)
「マルチフラクタルを用いた降水量のモデル化」[P]
- 13:40 ~ 14:00 草刈智一*・寒川典昭・山崎基弘(信州大学工学部)
「降水パターングラフを用いた一雨降水の経年変化分析」[P]
- 14:00 ~ 14:20 北田圭吾*・福山 薫(三重大学生物資源学部)
「Lacunarity 指標を用いた画像解析と気象への応用」[P]
- 14:20 ~ 14:30 休憩
- 14:30 ~ 14:50 永田絵美*(名古屋大学大学院環境学研究科)・中村健治・古澤(秋元)文江・森 弥佐(名古屋大学地球水循環研究センター)
「アマゾン産業研究所の地上観測データからみるアマゾンの過去気候」[P]
- 14:50 ~ 15:10 サンガ ンゴイ カザディ(立命館アジア太平洋大学)・吉川沙耶花*(三重大学大学院生物資源学研究科)
「熱帯地域における森林破壊とサバンナ化 — アマゾン南部を例にして —」[P]
- 15:10 ~ 15:30 緒方香都*・立花義裕(三重大学生物資源学部)・宇田川佑介(北海道大学大学院環境科学院)
「海水が南極周辺の大気循環に与える影響」[P]
- 15:30 ~ 15:50 立花義裕*(三重大学生物資源学部)・中村 哲(国立環境研究所)・小宮豪巳・高橋政憲(東海大学)
「夏のNAMの発達とブロッキング高気圧との関連」[P]
- 15:50 ~ 16:10 伊藤匡史*・立花義裕(三重大学生物資源学部), 猪上 淳, 堀 E. 正岳, 菊地 隆, 本田明治(海洋研究開発機構地球環境変動領域)
「2009年秋の北極海ラジオゾンデ観測速報」[P]
- 16:10 ~ 16:20 休憩
- 16:20 ~ 16:40 西川はつみ*・立花義裕(三重大学生物資源学部)・宇田川佑介(北海道大学大学院環境科学院)
「大気境界層の鉛直構造を決定付ける大気海洋相互作用~ラジオゾンデ観測より~」[P]
- 16:40 ~ 17:00 近藤淳也*・轡田邦夫(東海大学海洋学部)・永延幹男(水産総合研究センター)
「Drake Passage Oscillation Index (DPOI) の長期解析と南大洋上における海上気象変動との関係」[P]
- 17:00 ~ 17:20 亀田 傑*・轡田邦夫(東海大学海洋学部)・小山 真(NEC 航空宇宙システム)
「人工衛星高解像度データセットを用いた黒潮続流域における大気海洋相互作用の解析」[P]
- 17:20 ~ 17:40 伊藤寛悟(国土緑化(株))・依田和子*・轡田邦夫(東海大学海洋学部)
「駿河湾付近に発生する収束線発生時の気象条件に注目した事例解析」[P]

17:40 ~ 18:00 轡田邦夫*・守屋 洋・鶴川 賢 (東海大学海洋学部)

「2009 年 7 月 22 日皆既日食前後の海上気象変動」 [P]

18:15 ~ 懇親会

12 月 9 日 (水)

09:00 ~ 09:20 佐々木孝将*・久保田雅久 (東海大学海洋学部)

「海洋による南北熱輸送量の推定 (その 2)」 [P]

09:20 ~ 09:40 佐藤大志*・久保田雅久 (東海大学海洋学部)

「降水時における衛星潜熱フラックスの推定」 [P]

09:40 ~ 10:00 洪天祥*・岩坂泰信・李東仁 (金沢大学フロンティアサイエンス機構)

「2009 年鬱陵島で観測した大気中のエアロゾルの変動」 [P]

10:00 ~ 10:20 村瀬慎太郎*・皆巳幸也 (石川県立大学生物資源環境学部)

「イロハカエデの紅葉日を決定する気象要素に関する考察」 [P]

10:20 ~ 10:30 休憩

10:30 ~ 10:50 平松章男* (北陸先端科学技術大学院大学 / 日本気象予報士会)・

Huynh Van Nam・中森義輝 (北陸先端科学技術大学院大学)

「確率予報の効果的な利用について」 [P]

10:50 ~ 11:10 水越允治* (三重大学)

「古記録で読む歴史時代の天候・気候 -日本の中世を主として -」 [OHP]

11:10 ~ 11:30 柴田有紀子* (富山大学大学院理工学教育部)・川村隆一 (富山大学大学院理工学研究部)・初鹿宏壮 (富山県環境科学センター)

「北陸地方のフェーン発生の要因となる夏季の大規模循環の役割について」 [P]

11:30 ~ 11:50 糟谷 司* (富山大学大学院理工学教育部)・川村隆一 (富山大学大学院理工学研究部)

「中国・四国地方の夏季静穏日における GPS 可降水量の日変化特性」 [P]

11:50 ~ 12:10 林 弘文*

「地球温暖化とメタン分子振動」 [OHP]

12:10 ~ 13:10 昼休み

13:10 ~ 13:30 吉野 純* (岐阜大学大学院工学研究科)・飯田潤士 (大日コンサルタント株式会社)・安田孝志 (岐阜大学大学院工学研究科)

「地球温暖化を考慮した可能最大級台風の災害ポテンシャルの評価」 [P]

13:30 ~ 13:50 吉村 香・松本 守・喜内 恒*・林 真由 (名古屋地方気象台)

「愛知県周辺の高温について」 [P]

13:50 ~ 14:10 萩原滋彦* (名古屋地方気象台)

「平成 21 年台風第 18 号による三河湾における高潮」 [P]

14:10 ~ 14:20 講評 中村健治 (気象学会理事 / 名古屋大学)
閉会の辞

講演は*が付けられた方により行われる予定です。各講演のタイトルの後に付けられている [P]は PC プロジェクタによる講演を、[OHP]はオーバヘッドプロジェクタによる講演を表します。今回の支部研究会では、講演 1 件あたりの時間は 20 分を予定しております。各講演者の方は講演時間 15 分、質疑時間 5 分を目安とした講演をお願いいたします。

支部研究会についてのお問合せ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学地球水循環研究センター

藤波初木

hatsuki@hyarc.nagoya-u.ac.jp

電話：052-789-3474

FAX：052-789-3436